

職業訓練の好事例について

参考資料1

【国・都道府県の役割分担のもと、企業・地域・求職者のニーズにあった職業訓練を推進】

- ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等において、ものづくり分野の人材育成のほか、民間機関との共同研究を通じた産学連携等を推進。
- 都道府県では地域産業のニーズに基づいた職業訓練を実施。
- これらにより非正規雇用労働者の他、母子家庭の母など特別な支援を必要とする者の職業能力開発を支援。

非正規雇用労働者等に対する職業訓練

- テクニカルメタルワーク科（企業実習付）
非正規雇用→溶接工正社員・・・P2
- 電気設備科
非正規雇用→電気工事技術者正社員・・・P3
- 電気設備科
非正規雇用→制御盤組立工正社員・・・P4
- 住宅リフォーム技術科
非正規雇用→設備設計技術員正社員・・・P5
- ケアワーカーコース（神奈川県）
ニート→介護施設に採用
（10月に正社員登用予定）・・・P8
- 総合ビジネスコース（兵庫県）
母子家庭の母・準社員→正社員採用・・・P9
- 造園科（鳥取県）
派遣会社→正社員採用・・・P10

ポリテクカレッジにおける共同研究

- 産業用みかんの剥皮システムの開発・・・P6
- ICTを用いた避難所支援システムの開発・・・P7

女性のものでづくり人材の輩出

- 金属加工科
一般事務
→製缶加工技術者正社員・・・P1
- 電気設備科【再掲】
非正規雇用→制御盤組立工正社員・・・P4
- 住宅リフォーム技術科【再掲】
非正規雇用→設備設計技術員正社員・・・P5

地域の特色を活かした職業訓練

- 造園科（鳥取県）【再掲】
派遣会社→正社員採用・・・P10
- さめきうどん科（香川県）
飲食店店員→開業・・・P11
- 国際観光サービス科（沖縄県）
製造販売業→ホテル正社員・・・P12

※都道府県名を記載していないものはポリテクセンターで実施した訓練

機械-1	女性 38歳 前職：一般事務（正規労働者）→製缶加工技術者正社員
受講動機	一般事務を退職後、不景気で再就職が難しく、溶接やCAD技能など手に職を付けて再就職を目指すため金属加工科に入所。
希望	希望雇用形態：正社員・パート 希望職種：溶接工、CAD技術者 ※入所時CADオペレータに魅力を感じていたが、溶接作業の訓練で手に特殊技能が身に付く喜びとやりがいを感じ、修了時には溶接工になりたいと考えるようになった。
受講した訓練	ポリテクセンター島根 金属加工科（6か月訓練 H24年度修了）
結果	・訓練修了後、 有限会社A（金属製品製造業）に「製缶加工技術者」として、正社員採用。 ・現在（就職20か月後）、製缶技術者としてTIG溶接、半自動溶接、プレス、CAD業務に従事
就職先の評価	6か月の訓練により、基本技術や安全意識が身に付いている。仕事への姿勢も良く、様々な作業に興味を持ち積極的に作業を行っている。現場の雰囲気も明るくなり、今では現場に欠かせない存在に成長している。

訓練内容

- 訓練課題 金属加工、溶接、板金、CAD作業における技能・技術の向上

● 主なカリキュラム

- ・金属加工基本〔仕上げ作業、測定、ガス溶接等に関する技能、関連知識を習得〕
- ・アーク溶接作業〔炭酸ガスアーク、被覆アーク、TIG溶接に関する技術を習得〕
- ・板金作業〔手板金およびプレス作業に関する技能、関連知識を習得〕
- ・CAD製図作業〔製図に関する知識およびCADによる図面作成を習得〕

訓練時間：108時間

訓練時間：324時間

訓練時間：108時間

訓練時間：108時間



TIG溶接作業

● 指導のポイント

- 訓練の中で金属加工という職の魅力伝え、就職のイメージを明確化させる。
- 現場で求められる、安全意識、共同作業におけるコミュニケーション能力を身に付けさせる。
- 実務経験がない訓練生には、JIS溶接検定の資格取得を促し、履歴書に資格を書き書類審査で落とされない対策をしている。

● 就職支援

- ジョブ・カードを使用したキャリア・コンサルティングにより将来の進むべき方向を明確化。
- ハローワーク求人および指導員が開拓した求人を提示し、本人希望に合った職種の企業を斡旋し、希望した企業に対して指導員が紹介を行う。

機械-2	男性 35歳 前職：サービス業（非正規労働者）→溶接工正社員
受講動機	以前からものづくりへの興味はあったが、未経験のためハローワークで相談した結果、県の主幹産業である造船業などの溶接工として再就職することを目指して受講を決意した。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：溶接技術者
受講した訓練	ポリテクセンター佐世保 テクニカルメタルワーク科（短期課程活用型デュアルシステム） (6か月訓練 H24年度修了)
結果	・訓練修了後、企業実習先のH株式会社（鉄鋼業）に「溶接工」として正社員採用。 ・現在（就職21か月後）、船舶修理技術者として主に溶接やエンジン整備の業務に従事。
就職先の評価	基礎的な技能及び職場における掃除・整理等の姿勢だけでなく、仕事への熱い姿勢、礼儀正しさなど人間性も評価できる。挨拶がよいので職場全体が良い雰囲気になって来た。

訓練内容

● 訓練課題 金属加工、溶接等に関する知識と技能の実習と応用課題

● 主なカリキュラム

- ・金属加工基本〔図面、仕上げ作業、測定、ガス溶接等に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・TIG溶接作業〔TIG溶接に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・被覆アーク溶接作業〔被覆アーク溶接作業に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・炭酸ガスアーク溶接作業〔炭酸ガスアーク溶接に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：108時間



（炭酸ガスアーク溶接訓練風景）

● 指導のポイント

- 炭酸ガスアーク溶接、被覆アーク溶接を重点的に訓練し、溶接技能者評価試験に合格。
- 1ヶ月の企業実習の後、不足していた構造物の半自動溶接作業についてフォローアップを行い、更なるレベルアップを図った。

● 就職支援

- ジョブ・カードを活用した個別面談により、職歴や希望職種等を確認し、面接前には模擬面接を実施。
- 訓練で身に付けた技能を企業実習を通して企業にアピールすることにより、正社員として就職。

電気- 1	男性 28歳 前職：販売小売業（非正規労働者）→電気工事技術者正社員
受講動機	これまでは、アルバイトばかりで、このままでは生活が安定しないと思い、手に職を付けなければと考え、電気工事に係る配線工事等の技能を習得するために電気設備科の訓練を希望した。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：電気関連技術者
受講した訓練	ポリテクセンター福井 電気設備科（6か月訓練 H24年度修了）
結果	・訓練修了後、H株式会社（設備工事業）に「電気工事技術者」として正社員採用。 ・現在（就職17ヶ月後）、電気工事や設備工事の業務に従事。
就職先の評価	非常に熱心で前向きであり勉強熱心。言われたことは真面目に対応し、将来に期待を持っている。基礎的な知識・技術をしっかり学んでおり、訓練を受講していない人と比べるとやる気や前向きさが、かなり違う。今後もポリテクセンター修了生の採用を検討しようと考えている。

訓練内容

● 訓練課題 基本的な電気工事实習と自動火災報知設備施工、空冷式空調設備施工

● 主なカリキュラム

- | | |
|---|------------|
| ・一般用電気設備工事〔一般電気用工作物の設計、工事に関する技能、関連知識を習得〕 | 訓練時間：252時間 |
| ・消防設備工事〔自動火災報知設備の施工・点検に関する技能、関連知識を習得〕 | 訓練時間：72時間 |
| ・シーケンス制御〔シーケンス制御、電動機制御、盤加工に関する技能、関連知識を習得〕 | 訓練時間：162時間 |
| ・受変電設備の試験〔各種機器の機能、仕様書・図面作成、各種試験、関連知識を習得〕 | 訓練時間：54時間 |



屋内配線工事实習

● 指導のポイント

- 宅内、工場、学校など、ニーズが多い電気設備工事ができる技術者となるようポイントを絞って指導。
- 作業現場および電気に関する安全を十分に意識できるよう指導。
- 他者と協力し、業務を遂行できる技術者となるよう指導。

● 就職支援

- ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングを3回以上実施し、将来の進むべき方向性を明確化。
- 関係する職種の求人情報について、適宜提供。
- 求人希望のあった企業とのマッチングを行い、ミスマッチのないよう支援。

電気-2	女性 23歳 前職：楽器の販売員（非正規労働者）→制御盤組立工正社員
受講動機	前職は楽器の販売員であったが、日常生活に欠かせない電気に興味を持ち、将来手に職をつけて正社員として一生懸命働ける仕事をしたいと考えていたところ、ハローワークで職業訓練の紹介を受け、電気設備科の受講を希望した。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：制御盤組立
受講した訓練	ポリテクセンター関西 電気設備科（6か月訓練 H25年度修了）
結果	・訓練修了後、S電機株式会社（電気機械器具製造業）に「制御盤組立工」として正社員採用。 ・現在（就職4ヶ月後）、制御盤の設計・製作の業務に従事。
就職先の評価	丁寧に仕事をこなす。さらには、やる気があり、前向きで、訓練受講によって既に基礎知識を習得していることから立ち上がりも早く、専門的知識があってよい。人柄もよく周囲とのコミュニケーションが円滑に図れている。

訓練内容

● 訓練課題 基本的な電気工事実習と制御盤製作課題、太陽光システム工事実習

● 主なカリキュラム

- ・一般用電気設備工事〔一般電気用工作物の設計、工事に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：216時間
- ・シーケンス制御回路組立〔シーケンス制御、電動機制御に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：216時間
- ・太陽光システム工事〔太陽光システムの計画、工事に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：54時間
- ・自家用電気設備工事〔受変電設備の構成機器、各種試験に関する技能、関連知識を習得〕 訓練時間：54時間



屋内配線工事実習

● 指導のポイント

- 制御盤設計・製作に必要である図面の読み方から配線方法まで関連する技能・知識を習得できるよう丁寧に指導。
- 電気設備の技術だけでなく、省エネ技術の習得により、就職活動の範囲の拡大。
- 専門的技術だけでなく社会人としてのマナー（同僚とのコミュニケーションの取り方や取引先、お客様との接し方、挨拶など）を身につけさせることについても配慮。

● 就職支援

- ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングを実施し、将来の進むべき方向性を明確化。
- 関係する職種の求人情報について、適宜提供。担当指導員が個別に模擬面接を何度も実施した。就職活動でも作り上げた報告書を持参して企業にPRしたところ、身につけた技能、知識が認められ就職できた。

居住	女性 35歳 前職：事務職（非正規労働者）→設備設計技術員正社員
受講動機	これまでは、パチンコ店において事務の仕事に従事。以前から、建築業及びCADを使用する仕事に興味があった。ハローワークで職業相談をしたところ、住宅リフォーム技術科を紹介された。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：C A Dオペレーター
受講した訓練	ポリテクセンター北海道 住宅リフォーム技術科（6か月訓練 H25年度修了）
結果	・訓練修了後、株式会社A（総合工事業）に「設備設計技術員」として、正社員採用。 ・現在（就職6か月後）、設備設計（空調、冷暖房、衛生設備、電気設備）に従事
就職先の評価	構造物の部材名称や、CADの操作などの基礎知識が備わっているため、未経験の分野にも関わらずとても習得が早い。

訓練内容

● 訓練課題 木造住宅のリフォーム技術等に関する知識と技能の実習

● 主なカリキュラム

- ・構造部材加工組立〔木工用工具取扱い、構造部材加工組立に関する技能・関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・内外装施工〔住宅の内装作業と外装作業に関する技能・関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・住宅構造と改修計画・見積り〔住宅構造の関連知識、建築積算や改修計画等に関する技能・関連知識を習得〕 訓練時間：108時間
- ・情報活用と建築C A D〔報告書の作成、C A D図面作成に関する技能・関連知識を習得〕 訓練時間：108時間



建築CAD（作業風景）

● 指導のポイント

- 営業の要素から建築構造・設計・施工までの幅広い技能と関連知識を習得できるよう丁寧に指導。
- 実際に平屋建て住宅を新築し、外装材・内装材リフォームに関する技能・技術を習得するとともに、座学で得た知識をより深める。

● 就職支援

- ジョブカードを活用した個別面談
 - ・訓練受講までの職歴、希望職種等を確認。希望職種の理解を深め、求められるスキルと現在の自身のスキルとの乖離を把握。
 - ・習得技能を活用した職業生活をイメージして、採用面接において企業に対し積極的に自己PRを行うように支援。

共同研究の例（農業）

「産業用みかんの非加熱式外皮剥皮システムの開発」 福山職業能力開発短期大学校 【生産技術科（就職率 100.0%）】

※就職率は平成25年度実績

課題 みかんの皮むきのライン工程では、みかんを加熱し、内部の空気を膨張させることによって皮をむきやすくした後、皮と果肉を分離させるのが一般的である。この場合、皮の分離工程で加熱されることにより油脂等の有効成分が減少し、商品価値が損なわれることから、むいた皮については産業廃棄物として処理しなければならない。そのため、近年、みかんの皮は、漢方薬の原料等として需要が増えているにも関わらず、手作業により皮をむいているのが現状である。そこで、みかんの皮を加熱することなくむく方法を開発できれば、皮と果肉の両方を商品化することが可能となり、さらには国産みかん産業の活性化にも繋がることから、みかんの加工を行う企業から共同研究の依頼があった。

能開大の取組 システムの開発にあたり、みかんの皮をむきやすくするために、皮と果肉の間に直接空気を注入する非加熱方式とした。また、サイズが異なるみかんでも安定的に処理できること、かつ、商品化を容易にするためのシンプルな構造とすることをシステム設計・製作方針として、専門課程の総合制作実習において、次の2種類のアプローチによって学生が取り組んだ。

- ①恒久的に安定した稼働とするため、センサー等は使用せずにメカニズムを工夫する。
- ②作りやすさを踏まえ、センサーや電気制御を工夫する。

成果 「①センサーや電気制御は使用せずカムやリンク機構を活用したシステム」、「②空気圧機器を利用したシーケンス制御システム」の2種類の方法を研究開発することができた。また、みかんのサイズの違いに関わらず、安定的に皮と果肉を分離することができた。

企業との打合せにも学生が参加し、学生のアイデアにより製作した。システム設計、メカニズム、加工技術等を学ぶだけでなく、現場での活用を検討して、実際の製品の製造プロセスに合わせて製作したことから、ものづくりの過程を深く学ぶことができた。研究開発したシステムは、みかん処理工場での実用化を予定している。



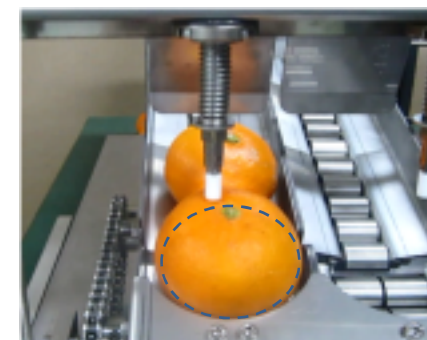
①の外観



②の外観



空気注入前



空気が入って膨らんでいる様子

課題 東日本大震災など大規模災害が発生した際の被災者の状況把握に相当の時間を要したという経験を踏まえ、企業、大学及びNPO団体等において、情報通信技術（ICT）を用いた被災者支援システムの研究及び開発が行われている。しかし、従来のシステムでは、災害発生時の電源喪失や通信回線が遮断した場合は、復旧するまでの間使用できないことや、詳細な救援ニーズ情報まで把握できず、大まかな被災者情報のみの管理しかできない等の課題があった。

能開大の取組 主に次の3システムから構成される「避難所支援システム」を専門課程の総合制作実習（卒業制作）のテーマとして学生が取り組んだ。

- ①電源を含めたインフラ喪失の場合もシステムが使用ができる仕組みとして、太陽光発電による充電と蓄電及び組込み機器による低消費電力サーバにより長時間の運用ができる。
- ②避難者や救援ニーズ等の情報を容易に入力できるようスマートフォン等からデータ入力ができる。
- ③避難者の入退出管理が迅速にできるようリストバンドにより瞬時に個人の識別情報が読み取れ、避難者の入退室が流動的に変化しても対応できる。

成果 実際の避難所での運用を想定し、電源喪失時においても直ちに稼働できるシステムを実現するとともに、避難者の情報をスマートフォン等から容易にデータ入力できるソフトウェアの開発を行った。さらに、チップ内蔵のリストバンドにより避難所における避難者の入退出管理を瞬時にを行う入退出管理システムを考案した。

今後、地元企業と密接に連携し、実証実験による評価を経て、2～3年後の商品化を目指している。

また、開発にあたり、学生は、実践的かつ複合的な専門技術・技能の習得に加え、企業との会議等を通して、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等を向上させる貴重な機会を得ることができた。



システムの外観



避難者登録画面



避難者の入退出管理に使用するリストバンドと市販の読み取り装置

職業能力開発校（神奈川県）における好事例

ケアワーカー	男性 25歳 前職：非正規労働者（飲食業）の後、ニート状態 →ケアワーカー常用非正規職員（正規職員登用予定）
受講動機	飲食業のアルバイトが続かずニート状態に陥り、同居していた祖父が介護状態になった際、祖父に満足な関わりが持てないまま祖父が他界。祖父にできなかった介護を仕事にしたいと考え受講を希望した。
希望	希望雇用形態：常用の非正規職員から正規職員への移行 希望職種：ケアワーカー
受講した訓練	神奈川県立東部総合職業技術校 ケアワーカーコース（6か月訓練 H25年度修了）
結果	・訓練修了後、 社会福祉法人 ○○福祉会 介護老人保健施設 港南△△にケアワーカーとして常用の非正規職員採用。 ・現在（就職3か月後）、ケアワーカーとして安定して従事している。
就職先の評価	前職がフリーターからニート状態であることから心配をしていたが、基本技術と報告・連絡・相談などの基本的なコミュニケーション能力も出来ており、10月より正規職員として登用予定である。

訓練内容

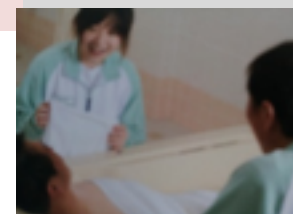
● 訓練課題 「実務者研修」カリキュラムによる介護人材に必要な知識・技能の習得

● 主なカリキュラム

- ・日常生活自立支援に必要な基礎技能〔介護技術・コミュニケーション・社会保障制度・職業倫理・発達と老化・障害の理解等を習得〕
- ・日常生活自立支援に必要な総合技能〔こころとからだのしくみ・医療的ケア・介護過程を習得〕

訓練時間：340時間

訓練時間：320時間



入浴介助実習

● 指導のポイント

- 介護保険事業所・施設が求める人材像をリサーチして、単に「実務者研修」カリキュラムを行うことなく、基礎から応用へ円滑に技能習得を可能とする神奈川方式単位制訓練を実施。
- 実習訓練を通じた人間性・協調性・責任感・意欲・忍耐強さ・真面目さ・緻密さ・挨拶等の基本的能力の向上とPDCAサイクルによる職場に適應できる訓練を実施。

● 就職支援

- ジョブ・カードを活用した個別面談により、職歴や希望職種等を確認。
- 体系的なキャリア・コンサルティングを導入し、技術校生の「納得」と「合意」に基づく支援。
- 技術校生の就職を支援する事業所団体である神奈川東部職業能力開発推進協議会と協働しての支援。

職業能力開発校（兵庫県）における好事例

事務	女性 42歳 前職：準社員（一般事務）→経理事務員正社員
受講動機	母子家庭の母であり、年齢や将来のことを考えて、正社員での再就職（最終就職）を検討。事務職としての知識、スキルを身に付けられると同時に、真剣に就職活動ができると思い受講を希望した。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：事務職
受講した訓練	兵庫県立神戸高等技術専門学院 （子育て両立支援）総合ビジネスコース（1年訓練 H24年度修了）
結果	・訓練修了後、株式会社M（総合建設請負業）に「経理事務員」として正社員採用。 ・現在（就職15か月後）、事務員として経理事務業務に従事。
就職先の評価	入社当初から経理事務を担当してもらっています。職業能力開発校での訓練経験を活かし、伝票処理、パソコン入力、電話対応なので事務全般において即戦力となり活躍してくれています。

訓練内容

● 訓練課題 事務職に必要な簿記・経理の技術、パソコン活用技術、ビジネススキルの習得、資格取得

● 主なカリキュラム

- ・簿記・経理の技術〔商業簿記、工業簿記、税務概論、簿記演習、会計ソフト基本実習、財務会計実習、給与計算実習〕 **日商簿記検定2級** 訓練時間：524時間
- ・パソコン活用技術〔OA機器概論、パソコン基本操作（メール、Web、SNS）、文書作成（Word、PowerPoint）データ活用（Excel、Access）〕 **日商PC検定2級** 訓練時間：230時間
- ・ビジネススキル〔事務一般、応接法、応接実習〕 **秘書検定2級** 訓練時間：108時間
- ・オリエンテーション・就職ガイダンス 等 訓練時間：38時間



データ活用

● 指導のポイント

- 出産等により離職された方を再就職させるため、事務職に必要な簿記・経理の技術、パソコン活用技術、コミュニケーション技術、応接技術、ビジネスマナー等を習得させる。
- 就職活動時期の前に、事務職求人でも求められる日商簿記検定、日商PC検定(データ活用)、秘書検定を取得させる。

● 就職支援

- 訓練内容と絡めて、Webによる求人検索・応募、履歴書・職務経歴書の書き方、面接試験対策などを指導。
- 訓練時間外を活用した積極的な就職活動を支援（**子育て中の方が受講しやすい訓練時間：9:45～14:30**）。
- 競争が厳しい事務職求人に対して、訓練で身に付けた技能を企業にアピールし、正社員として就職。

職業能力開発校（鳥取県）における好事例

造園	女性 40歳 前職：派遣会社（交通誘導）→正社員として就職
受講動機	前職で道路協等の造園作業の交通誘導をしているとき、自分も自然の中で働ける仕事に携わりたいと思うようになり、林業関係の会社の就職試験を受けたが、経験や資格がないということで断られた。そこで造園科に入校し、樹木の手入れ方法や造園設計等に必要な知識・技能や関連する様々な資格を取得し、造園業へ就職したいと思い受講。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：造園業
受講した訓練	鳥取県立産業人材育成センター米子校 短期課程 造園科 （10か月訓練 H24年度修了）
結果	・3級造園技能士をはじめ数々の資格を取得後、株式会社Y（造園業）に正社員として就職をした。 ・現在（就職16か月後）、公共事業での造園管理に必要な2級造園技能士を取得し活躍している。
就職先の評価	女性ということで、体力に不安はあったが、資格とやる気があったので採用しました。現在は仕事内容をよく理解し段取りよく仕事をしています。また、2級造園技能士を取得するなど自身をスキルアップしながら非常に頑張っており、大切な戦力となっています。

訓練内容

- 目標 庭園の樹木植栽剪定等造園に関する基礎的な知識と技術を習得し、庭園の施工や管理作業ができる人材を養成。
- 主なカリキュラム
 - ・造園施工〔基礎製図、石組み施工、延段・飛び石施工、石積み施工、竹垣施工、簡単な築庭〕 訓練時間：366時間
 - ・造園管理〔庭園の手入れ（施肥、病害虫と防除）、樹木の手入れ（整枝、剪定）〕 訓練時間：410時間
 - ・応用技術演習〔校外実習、企業実習〕 訓練時間：140時間
- 指導のポイント
 - 資格【3級造園技能士・小型移動式クレーン運転・玉掛け・フォークリフト・クレーン・チェーンソー・小型車両計建設機械】の取得を目標に造園に関する基礎的な知識・技術を取得し、庭園実習や企業実習等を通して応用技術を身につける。
 - 造園作業は、チーム作業になるので協調性や気づきが大切となるため、実習は班で作業を実施したり、自分で設計した庭園のプレゼンや短期的な個人目標を常に設定することにより、協調性・積極性を習慣化させるよう訓練を実施。
- 就職支援
 - ジョブ・カードを活用した個別面談により、職歴や希望企業等を確認。
 - 本人の希望する企業に訪問し、企業実習を依頼。企業実習中に訓練で身につけた知識・技能や就職に関する熱意と向上心をアピールすることにより就職できるよう支援している。

職業能力開発校（香川県）における好事例

さぬきうどん科 男性 41歳 前職：飲食業の店員 → うどん店の店員	
受講動機	10年間飲食業の経験があり、その中で大きな魅力と可能性を感じたのがうどん店であった。将来、独立開業を考えるにあたり、さぬきうどんの製麺技術と総合的な店舗経営ノウハウを習得したいため、受講を希望した。
希望	希望雇用形態：自営 希望職種：うどん店経営
受講した訓練	高等技術学校高松校 さぬきうどん科（委託訓練 3カ月訓練 H25年度修了）
結果	・訓練修了の翌日から丸亀市のうどん店で常用雇用として雇用される。 ・将来的には、独立開業をめざしている。

訓練内容

● 訓練課題 さぬきうどんの伝統手打ち製法及びその他調理全般

● 主なカリキュラム

- ①うどん製作実習（手打ちうどん、だし、具の製作に関する技能を習得）
- ②経営実技（接客、経営技法、原価計算に関する技能を習得）
- ③応用技法（接客サービス及び経営知識を習得）
- ④食品衛生学、食品学、調理学、食品加工学、栄養計算基礎（調理・衛生・栄養についての基礎知識を習得）

訓練時間：120時間

訓練時間：62時間

訓練時間：108時間

訓練時間：27時間



● 指導のポイント

- ①さぬきうどん店を開業できるように、さぬきうどんの伝統手打ち製法、接客サービス及び経営知識を習得させる。
- ②開業に向けて独自の経営企画を立てられる人材を育成する。

● 就職支援

- ジョブ・カードを活用した個別面談により、訓練修了後の方向性を確認。

職業能力開発校（沖縄県）における好事例

観光	男性 31歳 前職：製造販売業 → 正社員として就職
受講動機	前職では、海外で還元水の営業販売を行っていた。海外で仕事をする中でもっと自分の市場価値を高めたいと思い当講座を受講。近年、訪沖する中華圏旅行者の増加にともない、観光関連のビジネスチャンスを見据えて、当講座で観光関連の知識と中国語を習得する事で就職の可能性が広がると思い受講。
希望	希望雇用形態：正社員 希望職種：観光関連の知識と語学力を生かした職種（接客・営業）
受講した訓練	浦添職業能力開発校 国際観光サービス科（8か月訓練 H25年度修了）
結果	・訓練修了後、Hリゾートに正社員採用。 ・現在（就職3か月後）、7月開業に向けた開業準備に携わっている
就職先の評価	しっかりとした観光関連の知識と英語と中国語の2カ国語ができる事で即戦力として日々様々な業務に取り組んでもらっている。

訓練内容

● 目標	沖縄の基礎知識を有し、外国人観光客接客対応可能な国際人材の輩出。
● 主なカリキュラム	
・中国語、英語取得〔基礎・応用中国語、ビジネス会話実習、観光用英語 等〕	訓練時間：600時間
・沖縄の歴史等の知識やおもてなしの心得等の習得〔地域学・地元学、ホスピタリティ、プレゼンテーション 等〕	訓練時間：144時間
・就職支援〔インターンシップ、職場訪問、職業紹介、就職支援（座学）〕	訓練時間：76時間
● 指導のポイント	
○ 基礎中国語力の（基礎挨拶～簡単な文章の読み書き、中国人とコミュニケーションが取れるレベル）指導	
○ 中国語検定試験4級～3級の取得	
○ 基礎英語力の（観光に必要な接客用語～挨拶）指導	
○ 沖縄の歴史、文化、自然、資源、産業、経済、観光名所・旧跡の基礎知識指導	
○ 外国人観光客の風俗習慣や商習慣の指導	
● 就職支援	
○ 就職支援（履歴書の書き方、面接時の注意事項、電話応対方法）に関する指導	
○ 企業インターンシップ（中華圏観光客が訪れる企業で中国語を活用し接客を行う）	